

The 291th Programming Deliberation Committee

第291回番組審議会 議事録

開催日 2025年9月16日（火）

出席者：山田吉彦委員長、角田陽一郎委員、長崎亘宏委員、安藤美冬委員、望月理恵委員

議題（審議番組）：『武田良太 Try Again』

放送日時：2025年7月27日（日）、8月3日（日） 9:00-9:30

DJ：武田良太、尾崎里紗

会社からの説明

本番組は、2025年7月にスタートしました。

パーソナリティは元総務大臣の武田良太と、元日本テレビアナウンサーの尾崎里紗で、
2週にわたりゲストをお迎えし、人となりや挑戦したことなどを伺うトーク番組です。

今回、審議いただいたのは、小泉進次郎農林水産大臣に出演いただいた放送回で、
政治家としての働きからプライベートの素顔まで幅広く取り上げ、
報道や政治番組では伝えることが難しい内容もお届けできたのではないかと考えています。

委員からの意見・感想

審議委員 A

番組から爽やかな印象を受けた。こうした番組は今、求められているのではないでしょうか。
政治家の皆さん、人となりが分かるのはとても良く、他媒体では短い時間尺しか与えられなかったり、
切り取りがなされたりすることもあるので、
長い時間尺で、自分の声を、何にも遮られずに伝えられる機会は、貴重なのではないかと感じた。

審議委員 B

すごく面白かった。武田良太さんの声の質が、interfm に合っているような感じもした。
国会議員が独自に、YouTube で発信するのはプライベート過ぎ、一方でテレビなどの討論番組ではパブリック過ぎるように思えます。その両者のバランス、配分を考えるのが interfm としての、番組の価値ではないでしょうか。
小泉議員による思い入れのある選曲も良かった。

審議委員 C

とても面白かった。尾崎里紗さんがうまく番組をコントロールしていて、声質も素晴らしいと思います。
武田良太さんはそれまでのイメージとは異なり、我を出さず一步引いてホスト役に徹していたことも、
番組のバランスの良さに貢献していたと考えます。

審議委員 D

今、政治に興味を持つ若者は増えています。

このような政治をバラエティ感覚で知れる番組は必要であるし、ニーズもあると思います。

審議委員 E

今回、元政治家を起用した番組をスタートさせたことは、意味のあるチャレンジだと思っています。

ただ、現在はパーソナリティとして、及第点にも至っていないのではないか。

武田良太さんの冠番組であるのに存在感に欠けていて、キャラクターが見えてこない。武田さんが番組内で存在感が増すような施策を図ったり、今後、番組の中でどういった立場でどのように振る舞うのか、はっきりした方がよいと考えます。

一公社側の回答

番組に対する評価、改善・要望などの意見を真摯に受け止め、より質の高い音楽番組の制作に向け改善を図る。

以上